



宇都宮セントラルクリニック

理事

佐藤 俊彦氏

常に最先端の診療機能・治療設備をそろえ患者に高度な医療を提供してきた。画像診断センターが医療の中心になると考え、1997(平成9年)にセントラルクリニックを開院以来「栃木の医療水準を高く保ち、この宇都宮に集まる中心をつくる」という気概を誓ってきた。

2003年にはPET(陽電子放出断層撮影)、13年には女性専用棟を開設し、トモシンセシスという新型のマンモグラフィと乳房専用PETのPETも導入した。昨年は「モセラード」と「サバーナイ」の二つを備えた「放射線治療センター」を開設。その年のトピックスには「県内初」の「枕詞」が並ぶ。

「海外も視野に理想追求」 医師として、がん認知症に重点を置く。いすれも難なうちに発見し早期に芽を絶つことが大切と言

にも理解が深まっていない。もっと啓蒙していかねばと意欲を奮せる。3月にも次なる一手を打つ。デンタルフォトアカウンティングにある

「日本で治療を受けたい」という中国人にもアピールし、積極的に受け入れていく。と世界的な視野を持つ。免疫チェックポイント阻害因子の発見とがん治療への応用の研究が評価され、昨年のノーベル医学生理学賞を受賞した京都大学の本庶佑特別教授の講演を5年前に聞いたことが

と免疫の関係性があらためて理解できて感銘したと振り返る。当院も今後のトレンドに注目していかねば」とがん治療のアップデート「1冊」を自認している。

海外も視野に理想追求

クリニック外観

放射線治療センターとプレストセンター

医療法人DIC 宇都宮セントラルクリニック

〒321-0112 宇都宮市屋板町561-3 ☎028・657・7300